夜空を照らす6千発

福知山HANABI 写真でプレイバック

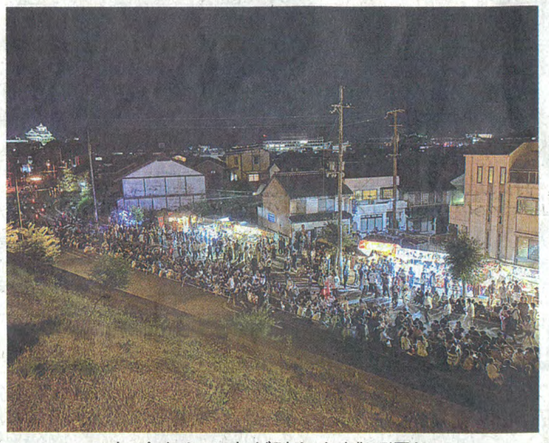
市街地を包むように打ち上がる花火。左手にNTT鉄塔、中央右奥に音無瀬橋を入れて（篠尾新町から）

由良川の対岸から打ち上がる花火。有料観覧席で大勢の人が楽しんだ（音無瀬橋周辺で）

花火大会「福知山HANABI 2026」（実行委員会主催、福知山市共催）が11日、同市の由良川河川敷で開かれた。打ち上げ数を前回の4千発から露店事故前と同規模の6千発に増やし、夜空に大輪の花を次々と咲かせた。福知山の夏を彩った当日の様子を、記者が撮影した写真とともに振り返る。

福知山城本丸エリアからの眺め

広小路通りからも空高く打ち上がる花火を見ることができた



たくさんの人が訪れた城下通り

窓越しに見える（市役所5階から）

花火の前後に福知山踊りが催された。飛び入りで楽しむ人も（広小路通りで）

広小路通り沿いにも多くの人たちが集まり鑑賞した

打ち上げから少し離れたスポットでも多くの人が夜空を見上げた（陸上自衛隊福知山駐屯地前の坂から）

露店でにぎわう御霊公園